

series

15

取扱説明書(暫定版)



2005 年 4 月版

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守り下さい。また、お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると､死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると､傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

- コンソール及び電源ユニットは、機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。バランスが崩れて落下すると、けがの原因となります。
- 必ず専用の電源ユニットを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼して下さい。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- コンソール及び電源ユニットを移動する際は、背中や腰を痛めないように、重量に十分注意してください。必要に応じて、何人かで協力して作業を行って下さい。
- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
  直射日光の当たる場所 / 極度の低温又は高温の場所 / 湿気の多い場所 /
  ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行って下さい。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前や音声ケーブルの接続時には、各ボリュームを最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因になることがあります。
- ヒューズ及びモジュールを交換する際は、専任のサービス要員にお問い合わせ下さい。正しく取り付けられていないと感電や火災の原因となります。
- ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼して下さい。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■使用上のご注意

●取り扱いおよび移動について

コンソール及び電源ユニットは堅牢に仕上げられておりますが、次の事を注意していただく事により、性能・耐久性をより長く維持する事ができます。

・正しい内寸に作られた頑丈なフライト・ケースに入れて移動してください。
・フライト・ケースから出して移動する場合は、各ツマミやコネクタ部に衝撃を与えないように十分注意してください。
・全ての配線を取り外してから、移動してください。
・コンソール及び電源ユニットの外装を、ベンジンやシンナーなどでふかないでください。変質や塗料がはげる原因になることがあります。外装のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用下さい。

●設置について

・高電圧送電ケーブル、ブラウン管、テープ・レコーダ等の強電磁界付近への設置は避けてください。外部からの誘導電界は、音声回路に悪影響を与えます。コンソール本体と電源ユニットも、できるだけ離して設置してください。
・放熱が良い環境で使用してください。フライトケース等に収納して使用する場合は、通気スペースを充分に取ってください。その際、吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。
・電源ユニット－コンソール間のDCケーブルを延長する事はおやめ下さい。本来の性能を維持する事が出来なくなるだけでなく、故障の原因になります。

●信号レベルについて

各入出力信号の仕様をご確認の上、以下の点に注意して接続を行ってください。

・コンソールへ接続する入力信号が、適切なレベルのものかどうか確認してください。S/N 比等の特性を悪化させる原因となります。
・バランス入力に同相信号や高周波信号を入力しないで下さい。また、出力コネクタに信号を入力することも避けてください。
・アンバランス型マイクロホンや、電源内蔵のコンデンサ型マイクロホン、ダイレクト・ボックスをマイク入力に接続して 48V ファンタム電源を入れないでください。モジュールのみならず、マイク本体や外部機器を破損する危険があります。

■はじめに

●取扱説明書(本書)をお読みください。

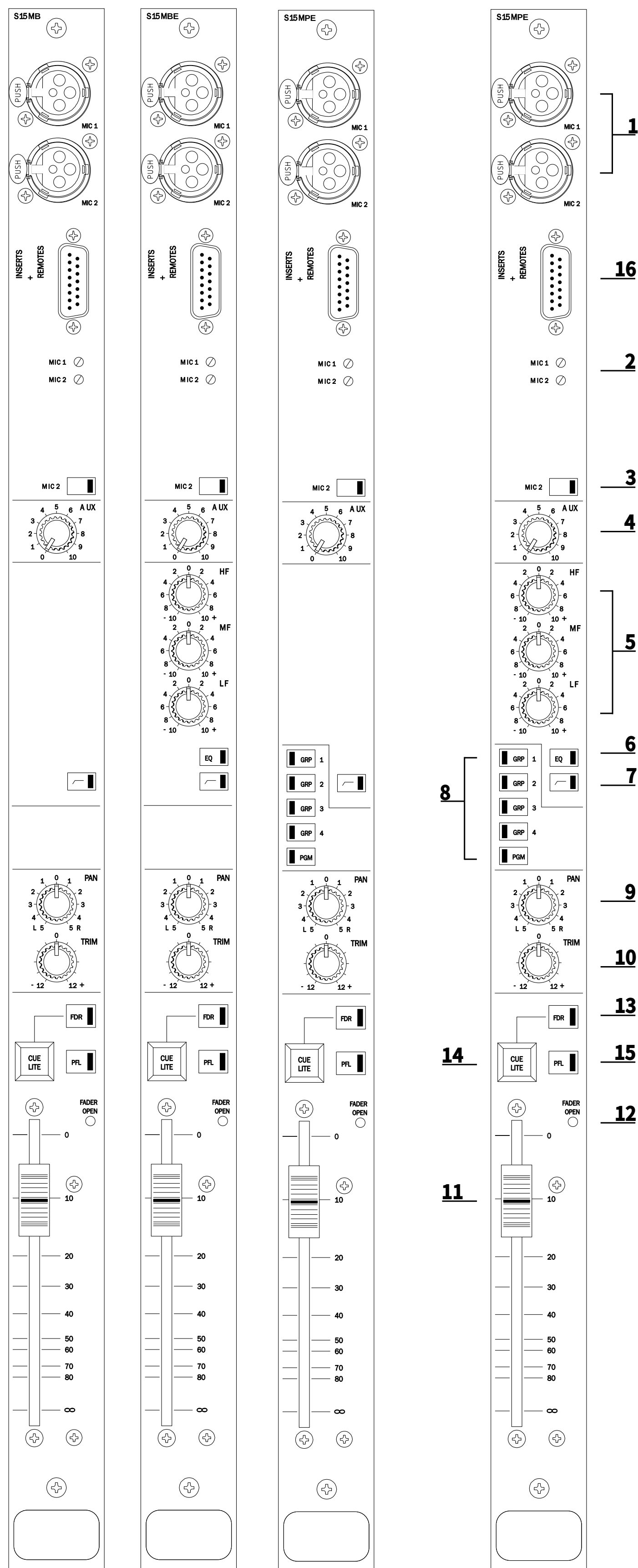
ご使用いただくまえに必ず本書をお読みください。内容をよくご理解された上で、正しくお使いください。

●保証書について

・保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店かヒビノプロオーディオセールス Div. までご依頼ください。
・お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不充分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
・改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。

■目次

■各部の名称と機能


S15MB
S15MBE
S15MPE
S15MPE
PUSH
MIC 1
MIC 2
INSERTS + REMOTES
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP
PGM
PAN
TRIM
FDR
CUE LITE
PFL
FADER OPEN
1
16
2
3
4
5
6
7
8
9
10
13
14
15
12
11

■デュアルマイク入力モジュール

デュアルマイク入力モジュールには、次の 4 種類があります。

- 放送用デュアルマイク入力モジュール（EQ なし）
- 放送用デュアルマイク入力モジュール（EQ 付）
- プロダクション用デュアルマイク入力モジュール（EQ なし）
- プロダクション用デュアルマイク入力モジュール（EQ 付）

1）マイク入力

このモジュールには、MIC1/MIC2 のマイクレベル入力用のコネクタを装備しています。この 2 つの入力は、スイッチ切り替えにより、どちらかを選択できます。48V ファンタム電源をそれぞれに搭載しており、内部ジャンパ設定により、オン / オフを選択します。

2）入力感度調整トリム

MIC1/MIC2 それぞれの、入力レベル感度を調整します。調整可能なレベルは、-70dBu 〜 -20dBu です。感度の変更は、ミニュチュアドライバで行ってください。

3）MIC2

このスイッチを押すと、MIC2 からの入力信号が、ヘッドアンプに送られます。押さなければ、MIC1 の入力信号が選択されます。

4）AUX センド

AUX マスタへ、信号を送ります。右に回しきりで、ユニティーゲインとなります。

5）イコライザ

3 バンドイコライザ。

HF .... 10KHz/ ± 10dB

MF .... 3KHz/ ± 10dB

LF........... 180Hz/ ± 10dB

6)EQ スイッチ

このスイッチを押すと、イコライザが有効になります。押さなければ、バイパスされます。

7）フィルタ

ハイパスフィルタ。

80Hz、12dB/oct

8）ルーティングスイッチ

ポストフェーダ信号（パンポットの後）を、ステレオグループ 1 〜 4 出力、PGM （MIX L/R）出力へルーティングします。

9）パンポット

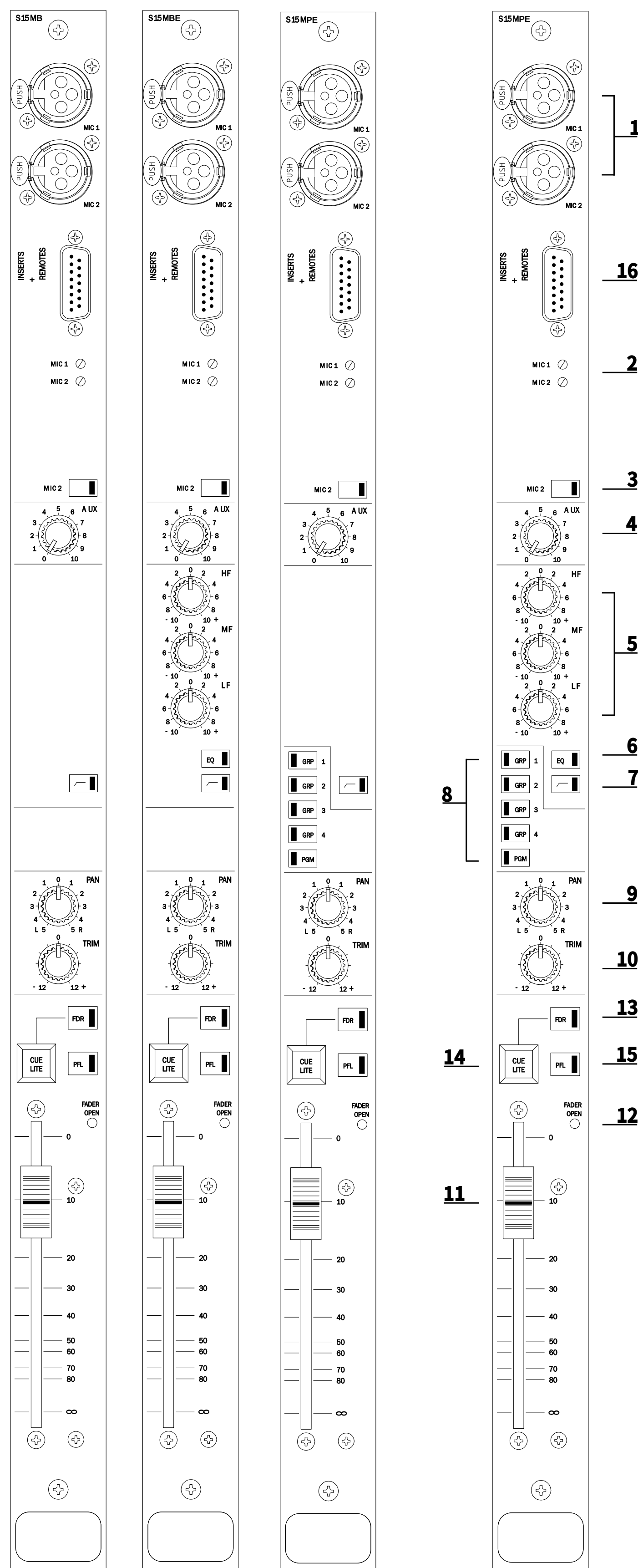
ステレオグループ出力、PGM（MIX L/R）出力での L/R 間の定位を調整します。

10）微調整用トリム

入力感度調整トリムで設定した入力レベルに対して、± 12dB の範囲で微調整ができます。またこれは、PFL 時のレベル調整にも利用できます。

11）チャンネルフェーダ

100㎜ ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。また、ルーティングスイッチで PGM を選択した場合に、フェーダを上げることにより、コントロールルーム出力 / スタジオモニタ出力にミュートをかけることができます。これは、内部ジャンパ設定により、MIC1/MIC2 それぞれ独立して選択します。


S15MB
S15MBE
S15MPE
S15MPE
PUSH
MIC 1
MIC 2
INSERTS + REMOTES
MIC 1
MIC 2
MIC 2
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
PAN
TRIM
FDR
CUE LITE
PFL
FADER OPEN
1
16
2
3
4
5
6
7
8
9
10
13
14
15
12
11

12）フェーダオープン LED

フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLEDが点灯し、視覚的に確認できます。

13）FDR

このスイッチを押すと、D-sub コネクタ上の CUE LITE 用のリレーを、フェーダのみでメイクすることができます。フェーダアップでリレーが閉じ（CUE LITE ON)、フェーダを下げきると、リレーが開きます（CUE LITE OFF)。

14）CUE LITE

このスイッチを押すと、D-sub コネクタ上の CUE LITE 用のリレーを、メイクさせることができます。スイッチをオン（LED点灯）にするととリレーが閉じ（CUE LITE ON)、オフ（LED消灯）にすると、リレーが開きます（CUE LITE OFF)。ただし、FDR スイッチを押している場合は、このスイッチでのリレーの開閉はできなくなります。

15）PFL

このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン/ コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、プリフェーダ信号を検聴できます。内部ジャンパ設定により、フェーダを突き下げ位置から上げると、自動的にキャンセルすることもできます。また、内部ジャンパ設定により、このスイッチを、押してすぐはなすとラッチ動作、1秒以上押し続けるとモーメンタリ動作にすることもできます（デュアルアクション)。

16）インサート + リモート D-sub コネクタ

D-sub コネクタ 15 ピン上に、次の 3 種類の機能のための入出力が立ち上がっています。

a）インサート

プリ EQ の位置に、インサートセンド / リターンを装備しています。内部スイッチ設定により、オン / バイパスを選択できます。

b）カフミュート

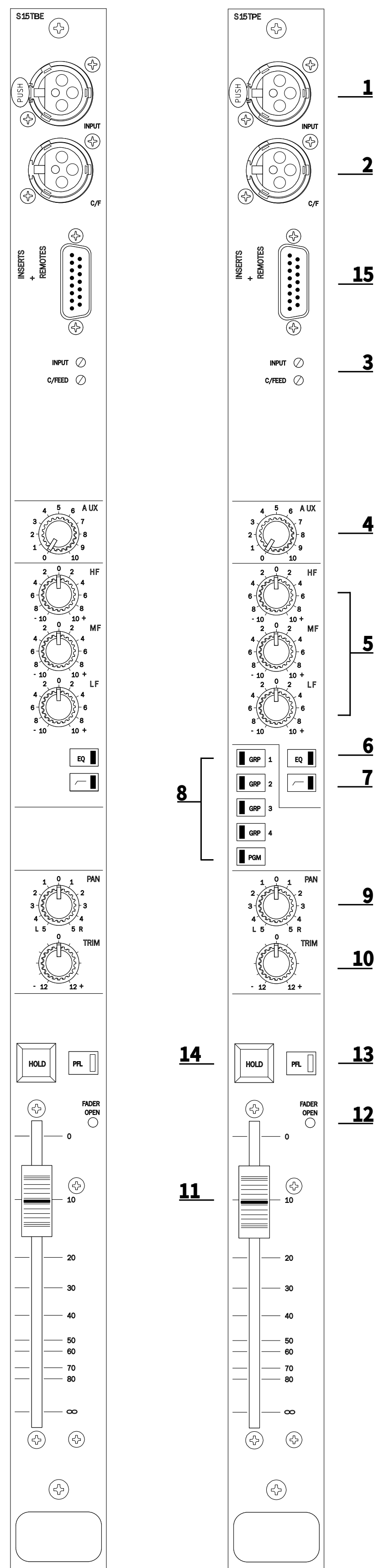
外部のカフボックス（別売）を接続して、ミュート、または強制 PFL をかけることが可能です。
◎外部からのチャンネルミュート：チャンネルフェーダがストローク上にある時この接点を閉じると、その間だけミュートをかけることができます。
◎強制 PFL（強制バックトーク）：チャンネルフェーダが絞りきりの時この接点を閉じると、ミュートがかかると同時に、PFL がオンになります。これにより、PFL 信号をバックトークとして使え、ゲスト / アナウンサと調整室間のコミュニケーションが可能になります。カフミュート A は、MIC1 用として、また、カフミュート B は、MIC2 用として接続してください。

c）キューライト・コントロール

外部のキューライトなど（別売）をコントロールするためのリレー接点です。CUE LITE スイッチの LED が点灯すると、リレーが閉じ、消灯すると、リレーが開きます。キューライト 1A/1B は、MIC1 用として、また、キューライト 2A/2B は、MIC2 用として接続してください。

トークバックマイク入力として使う場合

このモジュールは、内部ジャンパ設定により、トークバックマイク入力用のチャンネルにできます。これは、コントロールルーム / スタジオモニタモジュール上のトークバックマイクと同様に扱えます。この設定にすると、プリフェーダ（ポスト EQ）の信号を、直接にトークバックバスへ送ります。コントロールルーム / スタジオモニタモジュール上のT/Bスイッチを押すと、このモジュールの信号が、PRESヘッドホーンとコントロールルームモニタからトークバック信号として出力されます。ただし、この設定をしていても、チャンネルフェーダを上げると、PGM L/R、グループ 1 〜 4 にルーティングします（ルーティングスイッチを押している場合)。したがって、トークバックマイク入力用では、チャンネルフェーダを上げずに使います。


S15TBE
S15TPE
PUSH
INPUT
C/F
INSERTS + REMOTES
INPUT
C/FEED
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
PAN
L
R
TRIM
HOLD
PFL
FADER OPEN
1
2
15
3
4
5
6
7
8
9
10
14
13
12
11

■ Telco 入力モジュール

Telco 入力モジュールには、次の 2 種類があります。

- 放送用 EQ 付 Telco 入力モジュール
- プロダクション用 EQ 付 Telco 入力モジュール

1）入力

外部テレホンハイブリッド（別売）からの信号を入力します。ラインレベル受けです。

2）C/F（Cleanfeed）

クリーンフィード出力（マイナスワン出力）。

PGM （MIX L/R）信号から、このモジュールの信号をマイナスした、マイナスワン信号を出力します。

3）入力感度調整トリム

INPUT は、外部テレホンハイブリッド（別売）からの信号の入力レベル感度を調整します。

調整可能なレベルは、-10dBu～+4dBu です。C/FEED は、クリーンフィード出力のレベルを調整します。調整は、それぞれミニュチュアドライバで行ってください。

4）AUX センド

AUX マスタへ、信号を送ります。右に回しきりで、ユニティーゲインとなります。

5）イコライザ

3 バンドイコライザ。

HF .... 10KHz/ ± 10dB

MF .... 3KHz/ ± 10dB

LF........... 180Hz/ ± 10dB

6）EQ スイッチ

このスイッチを押すと、イコライザが有効になります。押さなければ、バイパスされます。

7）フィルタ

ハイパスフィルタ。

80Hz、12dB/oct

8）ルーティングスイッチ

ポストフェーダ信号（パンポットの後）を、ステレオグループ 1 ～ 4 出力、PGM （MIX L/R）出力へルーティングします。

9）パンポット

ステレオグループ出力、PGM （MIX L/R）出力での L/R 間の定位を調整します。

10）微調整用トリム

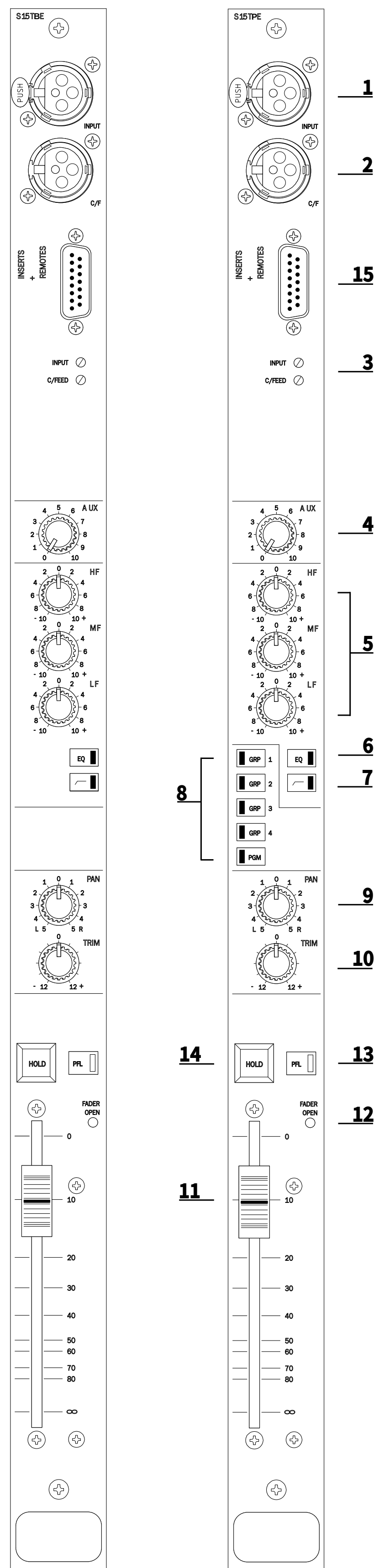
入力感度調整トリムで設定した入力レベルに対して、± 12dB の範囲で微調整をできます。またこれは、PFL 時のレベル調整にも利用できます。

11）チャンネルフェーダ

100mm ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。

12）フェーダオープン LED

フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLEDが点灯し、視覚的に確認できます。


S15TBE
S15TPE
PUSH
INPUT
C/F
INSERTS + REMOTES
INPUT
C/FEED
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
PAN
TRIM
HOLD
PFL
FADER OPEN
1
2
15
3
4
5
6
7
8
9
10
14
13
12
11

13）PFL

このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン / コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、プリフェーダ信号を検聴できます。内部ジャンパ設定により、フェーダを突き下げ位置から上げると、自動的にキャンセルすることもできます。また、内部ジャンパ設定により、このスイッチを、押してすぐはなすとラッチ動作、1 秒以上押し続けるとモーメンタリ動作にすることもできます（デュアルアクション）。このスイッチを押すと（フェーダ下げきりの状態で）、自動的にトークバック信号を受けて、クリーンフィード出力から電話通話者に送ることができます。この機能を利用すると、エンジニアや司会者などと電話通話者との間で、オフエアーでの通話ができます。

14）HOLD

外部テレホンハイブリッド（別売）にホールド機能がある場合、D-sub コネクタ上のリレーと接続して、このスイッチを使って遠隔操作ができます。スイッチを押すと、ホールドがかかります（ラッチ動作のみ）。いったんフェーダを上げてからフェーダを下げきると、このスイッチは、自動的にオフになります。

15）インサート + リモート D-sub コネクタ

D-sub コネクタ 15 ピン上に、次の 3 種類の機能のための入出力が立ち上がっています。

a）インサート

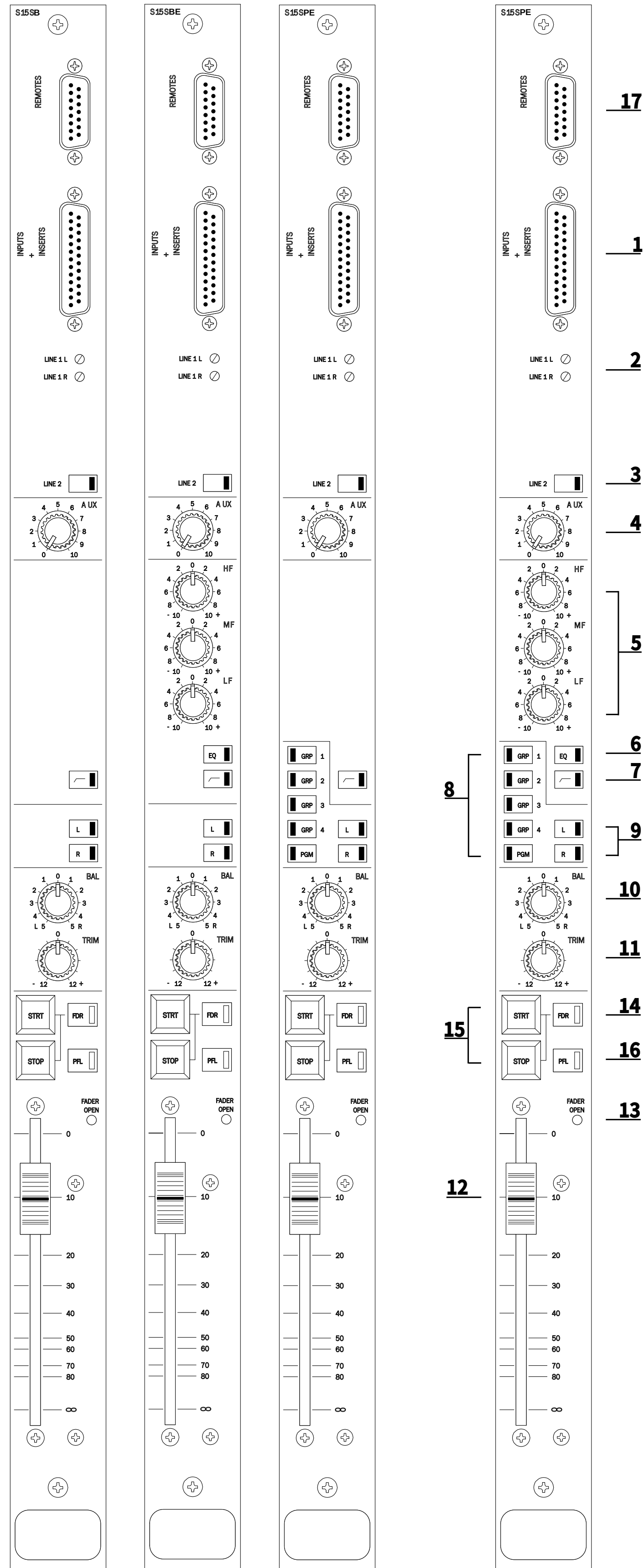
プリ EQ の位置に、インサートセンド / リターンを装備しています。内部スイッチ設定により、オン / パイパスを選択できます。

b）リモートホールド

HOLD スイッチと連動して、リレーの開閉を行います。

c）エクスターナル・トークバック入力

EXT T/B LOGIC とシャーシグラウンドをショートすると、エクスターナル・トークバック入力が有効になります。この信号は、このモジュールのクリーンフィード出力にルーティングされます。この際の出力信号は、エクスターナル・トークバック信号とアッテネートされたマイナスワン信号をミックスしたものです。


S15SB
S15SBE
S15SPE
S15SPE
REMOTES
INPUTS + INSERTS
LINE 1 L
LINE 1 R
LINE 2
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
L
R
BAL
TRIM
STRT
STOP
FDR
PFL
FADER OPEN
17
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
14
15
16
13
12

■ステレオ入力モジュール

ステレオ入力モジュールには、次の 4 種類があります。

• 放送用ステレオ入力モジュール

• 放送用 EQ 付ステレオ入力モジュール

• プロダクション用ステレオ入力モジュール

• プロダクション用 EQ 付ステレオ入力モジュール

1）入力＋インサート

D-sub コネクタ 25 ピン上に、ライン 1/ ライン 2 入力が立ち上がっています。ライン 1 入力の入力感度は、-10dBu～+4dBu の可変で、ライン 2 入力は、0dBu で固定となります。また、同様に、ステレオインサートセンド / リターンも、このコネクタに立ち上がっています。

2）ライン入力 1 入力感度調整トリム

L、R それぞれ独立して、入力感度レベルを調整します。感度の変更は、ミニュチュアドライバで行ってください。

3）LINE2

このスイッチを押すと、ライン入力 2 からの入力信号が、ヘッドアンプに送られます。押さなければ、ライン 1 入力が選択されます。

4）AUX センド

AUX マスタへ、モノラルサミングされた信号を送ります。右に回しきりで、ユニティーゲインとなります。

5）イコライザ

3 バンドイコライザ。

HF .... 10KHz/ ± 10dB

MF .... 3KHz/ ± 10dB

LF........... 180Hz/ ± 10dB

6）EQ スイッチ

このスイッチを押すと、イコライザが有効になります。押さなければ、バイパスされます。

7）フィルタ

ハイパスフィルタ。

80Hz、12dB/oct

8）ルーティングスイッチ

ポストフェーダ信号（パンポットの後）を、ステレオグループ 1 ～ 4 出力、PGM （MIX L/R）出力へルーティングします。

9）L/R スイッチ（モノ送りスイッチ）

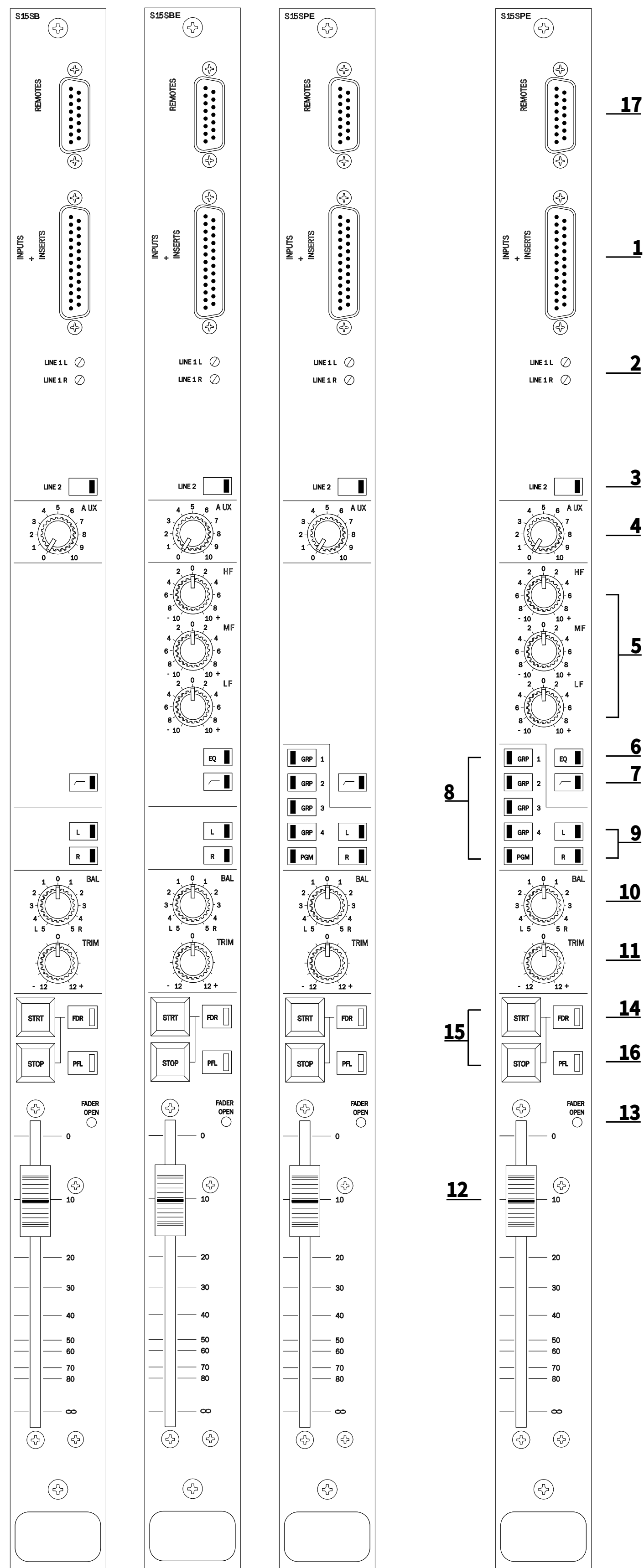
このスイッチは、微調整用トリムの直後のポイントにあります。Lスイッチを押すと、L信号がモノ信号としてこのチャンネルの L/R へ、R スイッチを押すと、R 信号がモノ信号としてこのチャンネルの L/R へ送られます。また、同時に両方のスイッチを押すと、L/R 信号をモノラルサミングして、このチャンネルの L/R へ送ります。

10）BAL

ステレオ信号の左右のバランスを調整します。左右どちらかに回しきりで、約 6dB 増幅します。

11）微調整用トリム

入力感度調整トリムで設定した入力レベルに対して、± 12dB の範囲で微調整ができます。またこれは、PFL 時のレベル調整にも利用できます。


S15SB
S15SBE
S15SPE
S15SPE
REMOTES
INPUTS + INSERTS
LINE 1 L
LINE 1 R
LINE 2
AUX
HF
MF
LF
EQ
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
L
R
BAL
TRIM
STRT
STOP
FDR
PFL
FADER OPEN
17
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
14
15
16
13
12

12）チャンネルフェーダ

100mm ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。

13）フェーダオープン LED

フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLEDが点灯し、視覚的に確認できます。

14）FDR

このスイッチを押すと、フェーダスタート / ストップのコントロールを、フェーダで行えるようになります。

15）STRT/STOP

このスイッチで、接続した外部機器をリモートコントロールします。外部機器のコントロールは、フォトカプラ経由で行います。この動作は、内部ジャンパ設定により、ラッチ、またはモーメンタリのどちらかを選択できます。ただし、FDR スイッチを押している場合は、このスイッチでのコントロールはできなくなり、チャンネルフェーダと連動します。また、内部ジャンパ設定により、フェーダスタート/ストップを、モーメンタリ動作を選択した場合のみ、STRT スイッチだけでコントロールできます(通常は、STOP スイッチを押さないと、再び STRT スイッチは機能しません)。

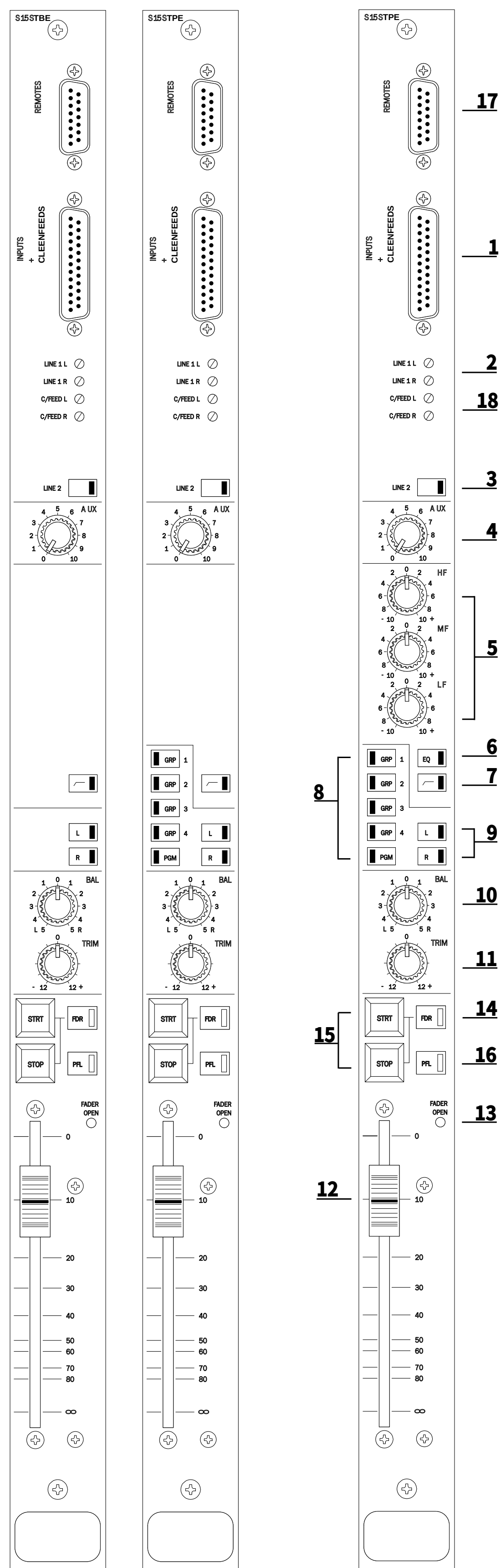
外部機器に接続する際は、必要に応じて、インタフェースボックスなどを用意してください。

16）PFL

このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン / コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、プリフェーダ信号（モノ）を検聴できます。内部ジャンパ設定により、フェーダを突き下げ位置から上げると、自動的にキャンセルすることもできます。また、内部ジャンパ設定により、このスイッチを、押してすぐはなすとラッチ動作、1 秒以上押し続けるとモーメンタリ動作にすることもできます（デュアルアクション）。

17）リモート

D-sub コネクタ 15 ピン上に、フェーダスタート A/B、フェーダストップ A/B のそれぞれの出力が、フォトカプラ経由で立ち上がっています。A は、ライン入力 1 用、B は、ライン入力 2 用として接続してください。


S15STBE
S15STPE
S15STPE
REMOTES
INPUTS + CLEENFEEDS
LINE 1 L
LINE 1 R
C/FEED L
C/FEED R
LINE 2
AUX
HF
MF
LF
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
EQ
L
R
BAL
TRIM
STRT
STOP
FDR
PFL
FADER OPEN
17
1
2
18
3
4
5
6
7
8
9
10
11
14
15
16
13
12

■ステレオ Telco 入力モジュール

ステレオ Telco 入力モジュールには、次の 3 種類があります。

- 放送用ステレオ Telco 入力モジュール
- プロダクション用ステレオ Telco 入力モジュール
- プロダクション用 EQ 付ステレオ Telco 入力モジュール

1）入力 + クリーンフィード出力

D-sub コネクタ 25 ピン上に、ライン 1/ ライン 2 入力が立ち上がっています。それぞれの入力は、外部テレホンハイブリッド（別売）からの信号を入力します。ライン 1 入力の入力感度は、-10dBu ～ +4dBu の可変で、ライン 2 入力は、0dBuで固定となります。また、同様に、ステレオクリーンフィード出力も、このコネクタに立ち上がっています。

2）ライン入力 1 入力感度調整トリム

L、R それぞれ独立して、入力感度レベルを調整します。感度の変更は、ミニュチュアドライバで行ってください。

3）LINE2

このスイッチを押すと、ライン入力 2 からの入力信号が、ヘッドアンプに送られます。押さなければ、ライン 1 入力が選択されます。

4）AUX センド

AUX マスタへ、モノラルサミングされた信号を送ります。右に回しきりで、ユニティーゲインとなります。

5）イコライザ

3 バンドイコライザ。

HF .... 10KHz/ ± 10dB

MF .... 3KHz/ ± 10dB

LF........... 180Hz/ ± 10dB

6）EQ スイッチ

このスイッチを押すと、イコライザが有効になります。押さなければ、バイパスされます。

7）フィルタ

ハイパスフィルタ。

80Hz、12dB/oct

8）ルーティングスイッチ

ポストフェーダ信号（パンポットの後）を、ステレオグループ 1 ～ 4 出力、PGM （MIX L/R）出力へルーティングします。

9）L/R スイッチ（モノ送りスイッチ）

このスイッチは、微調整用トリムの直後のポイントにあります。Lスイッチを押すと、L信号がモノ信号としてこのチャンネルの L/R へ、R スイッチを押すと、R 信号がモノ信号としてこのチャンネルの L/R へ送られます。また、同時に両方のスイッチを押すと、L/R 信号をモノラルサミングして、このチャンネルの L/R へ送ります。

10）BAL

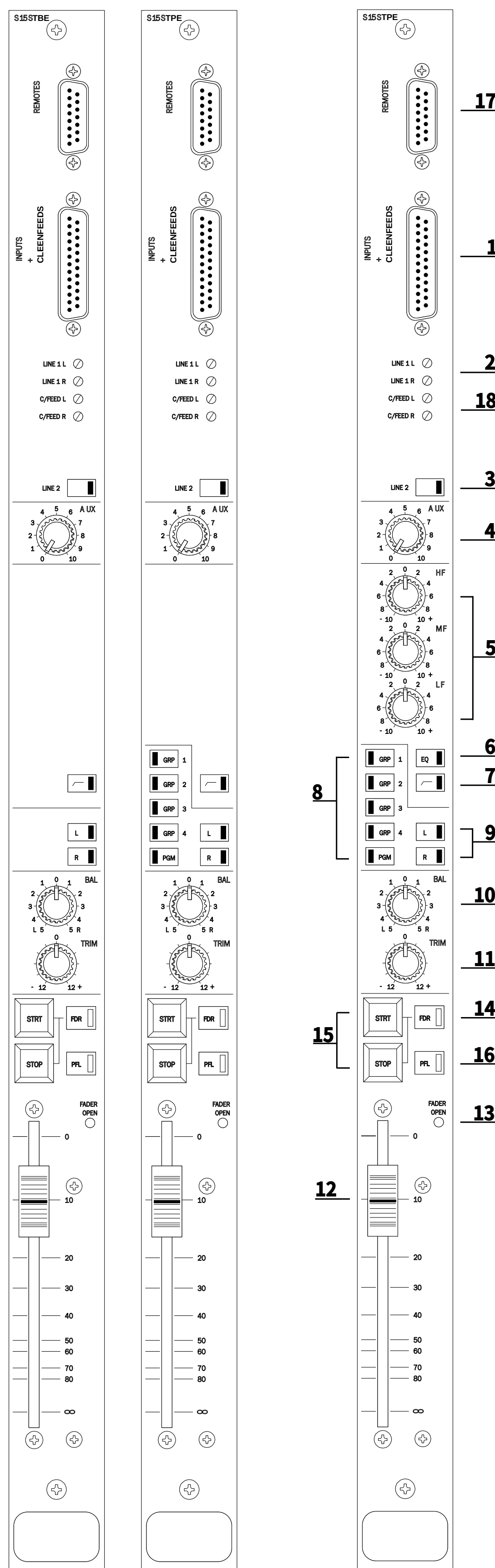
ステレオ信号の左右のバランスを調整します。左右どちらかに回しきりで、約 6dB 増幅します。

11）微調整用トリム

入力感度調整トリムで設定した入力レベルに対して、± 12dB の範囲で微調整ができます。またこれは、PFL 時のレベル調整にも利用できます。

12）チャンネルフェーダ

100mm ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。


S15STBE
S15STPE
S15STPE
REMOTES
INPUTS
+
CLEENFEEDS
LINE 1 L
LINE 1 R
C/FEED L
C/FEED R
LINE 2
AUX
HF
MF
LF
GRP 1
GRP 2
GRP 3
GRP 4
PGM
EQ
L
R
BAL
TRIM
STRT
STOP
FDR
PFL
FADER
OPEN
0
10
20
30
40
50
60
70
80
∞
17
1
2
18
3
4
5
6
7
8
9
10
11
14
15
16
13
12

13）フェーダオープン LED

フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLEDが点灯し、視覚的に確認できます。

14）FDR

このスイッチを押すと、フェーダスタート / ストップのコントロールを、フェーダで行えるようになります。

15）STRT/STOP

このスイッチで、接続した外部機器をリモートコントロールします。外部機器のコントロールは、フォトカプラ経由で行います。この動作は、内部ジャンパ設定により、ラッチ、またはモーメンタリのどちらかを選択できます。ただし、FDR スイッチを押している場合は、このスイッチでのコントロールはできなくなり、チャンネルフェーダと連動します。また、内部ジャンパ設定により、フェーダスタート/ストップを、モーメンタリ動作を選択した場合のみ、STRT スイッチだけでコントロールできます(通常は、STOP スイッチを押さないと、再び STRT スイッチは機能しません)。

外部機器に接続する際は、必要に応じて、インタフェースボックスなどを用意してください。

16）PFL

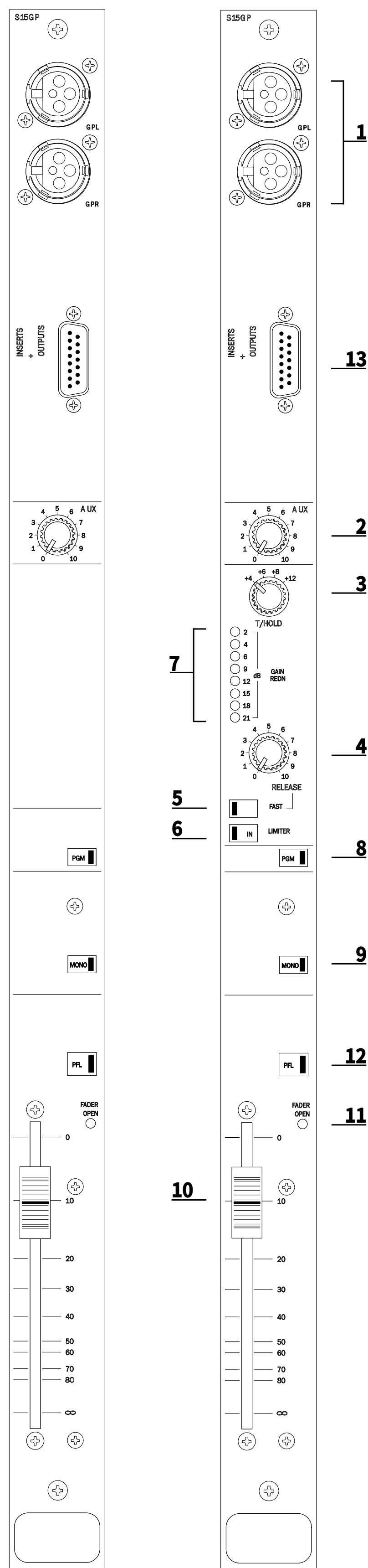
このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン / コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、プリフェーダ信号（モノ）を検聴できます。内部ジャンパ設定により、フェーダを突き下げ位置から上げると、自動的にキャンセルすることもできます（デュアルアクション）。また、内部ジャンパ設定により、このスイッチを、押してすぐはなすとラッチ動作、1秒以上押し続けるとモーメンタリ動作にすることもできます。このスイッチを押すと（フェーダ下げきりの状態で）、自動的にトークバック信号を受けて、クリーンフィード出力から電話通話者に送ることができます。この機能を利用すると、エンジニアや司会者などと電話通話者との間で、オフエアーでの通話ができます。

17）リモート

D-sub コネクタ 15 ピン上に、フェーダスタート A/B、フェーダストップ A/B のそれぞれの出力が、フォトカプラ経由で立ち上がっています。A は、ライン入力 1 用、B は、ライン入力 2 用として接続してください。

18）クリーンフィード出力レベル調整トリム

クリーンフィード L、クリーンフィード R それぞれ独立して、出力レベルを調整します。出力レベルは、-10dBu ～ +4dBu の可変です。調整は、ミニュチュアドライバで行ってください。


S15GP
GPL
GPR
INSERTS + OUTPUTS
AUX
T/HOLD
GAIN REDN
dB
RELEASE
FAST
IN
LIMITER
PGM
MONO
PFL
FADER OPEN
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

■ステレオグループ出力モジュール

ステレオグループ出力モジュールには、次の 2 種類があります。

- ステレオグループ出力モジュール
- ステレオグループ出力モジュール（リミッタ搭載）

1）グループ出力

バランス +4dBu 出力。D-sub15 ピンから、パラレルでアンバランス -10dBV 出力ができます。

2）AUX センド

AUX マスタへ、モノラルサミングされた信号を送ります。右に回しきりで、ユニティーゲインとなります。

●リミッタセクション

3）T/HOLD

スレッショルドレベルを、+4dBr、+6dBr、+8dBr、+12dBr のなかから選択します。

4）RELEASE

リリースタイムを選択します。200mS 〜 10Secs の可変です。

5）FAST(アタックタイム）

アタックタイムは、通常、0.5mSec ですが、このスイッチを押すと、10mSec になります。

6）IN

このスイッチを押すと、リミッタが有効になります。押さなければ、完全にバイパスされます。

7）GAIN REDN

ゲインリダクションレベルを表示する、8 セグメント LED メータです。

8）PGM

このスイッチを押すと、グループ信号が PGM（MIX L/R）へルーティングされます。

9）MONO

このスイッチを押すと、グループ信号をモノラルサミングし、出力 L/R の両方から出力します。

10）グループ出力フェーダ

100mm ストロークのグループ出力フェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。

11）フェーダオープン LED

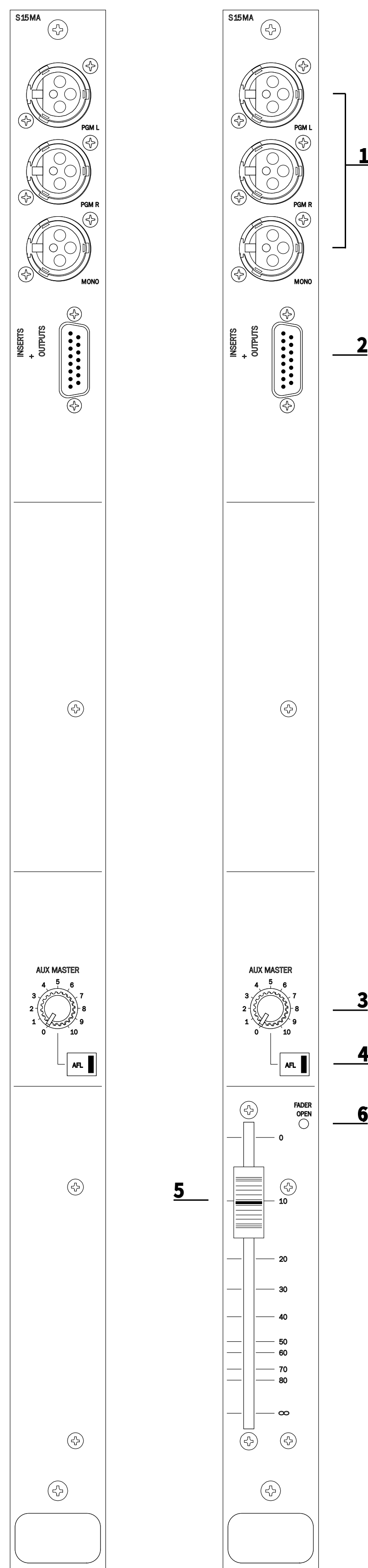
フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLEDが点灯し、視覚的に確認できます。

12）PFL

このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン / コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、プリフェーダ信号（モノ）を検聴できます。フェーダが上がった状態では、このスイッチは作動しません。

13）インサート + グループ出力（-10dBV）

D-sub コネクタ 15 ピン上に、インサートセンド / リターン（L/R）のそれぞれが立ち上がっています。内部ジャンパ設定により、オン / バイパスを選択できます。また、同様に、バランス +4dBu 出力（XLR コネクタ）とパラレルで、アンバランス -10dBV 出力も立ち上がっています。


S15MA
PGM L
PGM R
MONO
INSERTS + OUTPUTS
AUX MASTER
AFL
FADER OPEN
1
2
3
4
5
6

■ステレオマスタ出力モジュール

ステレオマスタ出力モジュールには、次の 2 種類があります。

• ステレオ出力モジュール（フェーダなし）

• ステレオ出力モジュール

1）マスタ出力

PGM（MIX L/R）信号（0dBu)、MONO信号（0dBu）をそれぞれ出力します。MONO信号は、PGM のポストフェーダ信号をサミングしたものです。

2）出力 + インサート

D-sub コネクタ 15 ピン上に AUX 出力、アンバランス /-10dBV の PGM 出力がそれぞれ立ち上がっています。また、同様に、インサートセンドリターン（L/R）が立ち上がっています。内部ジャンパ設定により、オン / バイパスを選択できます。

● AUX マスタセクション

3）AUX マスタボリューム

AUX マスタ出力レベルをコントロールします。7 の位置でユニティーゲインとなり、右に回しきりで 10dB のゲインを持っています。

4）AFL

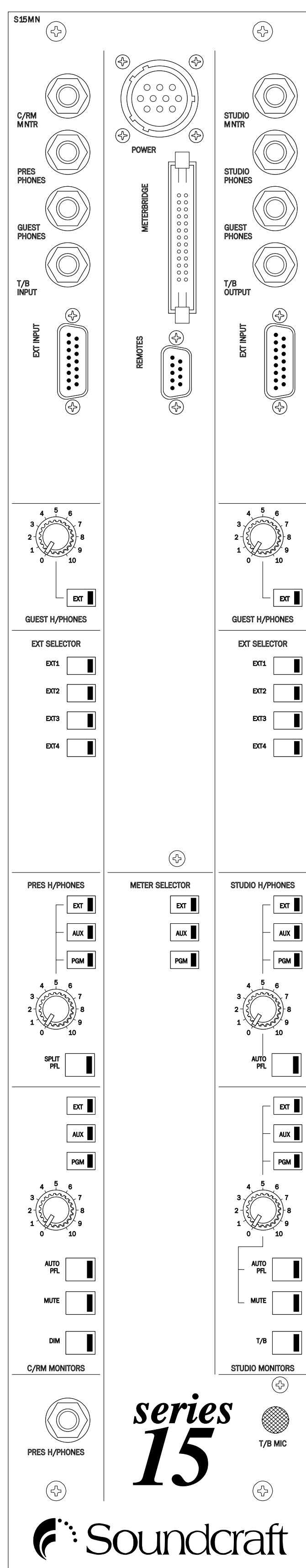
このスイッチを押すと、PRES ヘッドホーン / コントロールルームモニタ /PFL ラウドスピーカで、AUX マスタ出力（AUX マスタボリュームの直後）の検聴ができます。

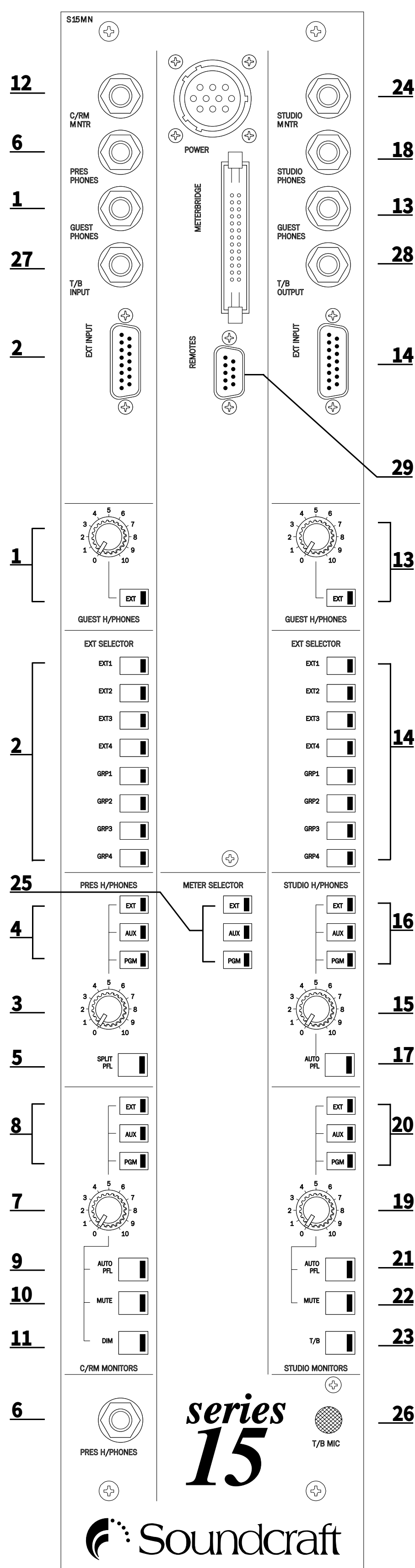
5）PGM(MIX L/R）出力フェーダ

100mm ストロークの PGM 出力フェーダです。突き上げ位置で、ユニティーゲインとなります。

6）フェーダオープン LED

フェーダユニットに内蔵されている、マイクロスイッチと連動します。フェーダが少しでも上がっていると、このLED が点灯し、視覚的に確認できます。


S15MN
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
EXT
GUEST H/PHONES
EXT
GUEST H/PHONES
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
PRES H/PHONES
EXT
AUX
PGM
SPLIT PFL
METER SELECTOR
EXT
AUX
PGM
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
DIM
C/RM MONITORS
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
T/B
STUDIO MONITORS
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft


S15MN
12
6
1
27
2
24
18
13
28
14
29
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
1
13
EXT
GUEST H/PHONES
EXT
GUEST H/PHONES
2
14
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
GRP1
GRP2
GRP3
GRP4
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
GRP1
GRP2
GRP3
GRP4
25
4
16
PRES H/PHONES
EXT
AUX
PGM
METER SELECTOR
EXT
AUX
PGM
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
3
15
5
17
SPLIT PFL
AUTO PFL
8
20
EXT
AUX
PGM
EXT
AUX
PGM
7
19
9
21
10
22
11
23
AUTO PFL
MUTE
DIM
C/RM MONITORS
AUTO PFL
MUTE
T/B
STUDIO MONITORS
6
26
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft

■コントロールルーム / スタジオモニタモジュール

このモジュールには、次の 2 種類があります。
プロダクション用コントロールルーム / スタジオモニタモジュール
放送用コントロールルーム / スタジオモニタモジュール

●ゲストヘッドホン -1

1）GUEST H/PHONES

通常、PGM（MIX L/R）信号を出力します。ただし、EXT スイッチを押すと、EXT SELECTOR で選んだソースに切り替わります。ヘッドホンは、400 Ω以上のものをお使いください。

●モニタソースセレクトスイッチ

2）EXT SELECTOR

EXT スイッチを押した際の出力ソースを選択します。この信号は、このスイッチの上の GUEST H/PHONES、PRES PHONES、C/RM MONITOR（コントロールルームモニタ出力）へルーティングします。EXT1 ～ 4（ステレオラインソース）は、D-sub コネクタ 15 ピンから入力します。EXT1 と 2 は、バランス /0dBu で、EXT3 と 4 は、アンバランス /-10dBV です。GRP1 ～ 4 スイッチを押すと、グループ出力信号がそれぞれモニタできます。ただし、放送用コントロールルーム / スタジオモニタモジュールに、GRP1 ～ 4 スイッチは付いていません。

●プレゼンタヘッドホン

3）PRES H/PHONES

通常は、SOURSE SELECTION スイッチで選んだソースを出力します。PFL/AFL スイッチを押した場合は、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。同様に、デュアルマイク入力モジュールをトークバック入力に設定し、トークバック信号を送った場合も、同じ動作になります。T/B MIC、またはT/B INPUT（リバーストークバック入力）からの信号を受けた場合は、トークバック信号と 20dB アッテネートされたモニタソース信号が一緒に出力されます。この際、レベルボリュームは、無効になります。

4）SOURCE SELECTION

出力ソースを、PGM（MIX L/R）、AUX、EXT（EXT SELECTER で選んだソース）のなかから選択します。

5）SPILIT PFL

このスイッチ押すと、ヘッドホーンの右側から PFL または AFL 信号を、左側からはモニタソース信号を聞くことができます。この機能は、PFL/AFL スイッチを押した場合のみ有効です。

6）PRES PHONES

プレゼンタヘッドホーン用ジャック。ヘッドホーンは、400 Ω以上のものをお使いください。

●コントロールルームモニタ

7）C/RM MONITOR LEVEL

コントロールルームモニタ出力のレベルを調整するボリュームです。

8）SOURCE SELECTION

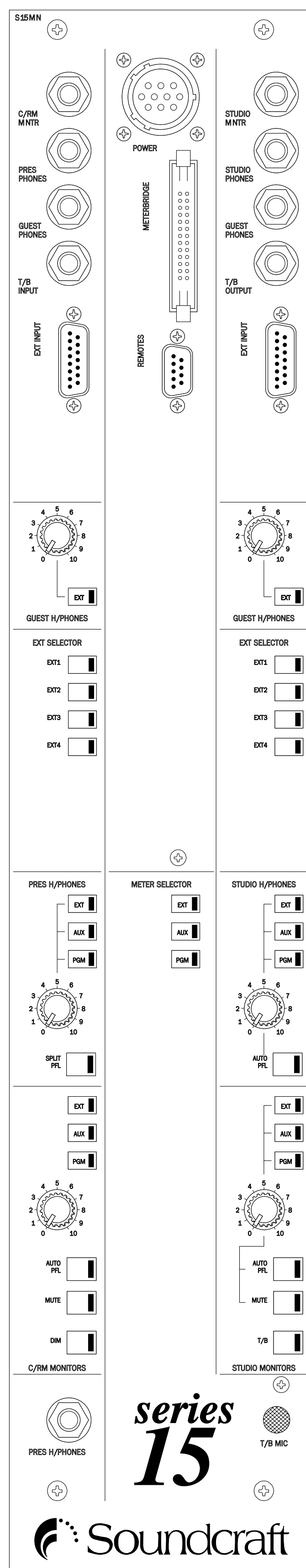
出力ソースを、PGM（MIX L/R）、AUX、EXT（EXT SELECTER で選んだソース）のなかから選択します。AUTO PFL がオンの場合、PFL/AFL スイッチを押すと、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。

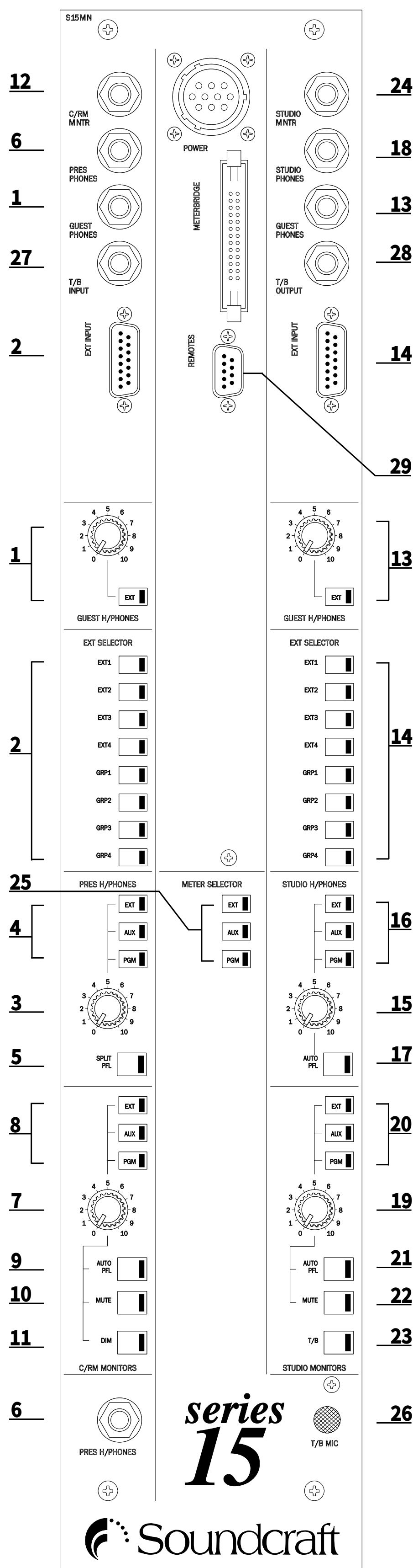
9）AUTO PFL

このスイッチを押すと、PFL/AFL 時にコントロールルームモニタ出力信号が、自動的に検聴信号に切り替わります。

10）MUTE

コントロールルームモニタ出力をミュートします。


S15MN
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
EXT
GUEST H/PHONES
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
PRES H/PHONES
METER SELECTOR
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
SPLIT PFL
AUTO PFL
MUTE
DIM
T/B
C/RM MONITORS
STUDIO MONITORS
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft


12
6
1
27
2
24
18
13
28
14
29
1
13
2
14
25
4
16
3
15
5
17
8
20
7
19
9
21
10
22
11
23
6
26
S15MN
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
EXT
GUEST H/PHONES
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
GRP1
GRP2
GRP3
GRP4
PRES H/PHONES
METER SELECTOR
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
SPLIT PFL
AUTO PFL
MUTE
DIM
T/B
C/RM MONITORS
STUDIO MONITORS
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft

11）DIM

このスイッチを押すと、コントロールルームモニタ出力を 20dB アッテネートします。T/B スイッチを押した場合、または Telco/ ステレオ Telco 入力モジュールの PFL スイッチを押した場合も、同様にアッテネートします。

12）C/RM MNTR

コントロールルームモニタ出力ジャック。アンバランス /0dBu。

●ゲストヘッドホン -2

13）GUEST H/PHONES

通常、PGM（MIX L/R）信号を出力します。ただし、EXT スイッチを押すと、EXT SELECTOR で選んだソースに切り替わります。ヘッドホーンは、400 Ω以上のものをお使いください。

●モニタソースセレクトスイッチ

14）EXT SELECTOR

EXTスイッチを押した際の出力ソースを選択します。この信号は、このスイッチの上のGUEST H/PHONES、STUDIO H/ PHONES、STUDIO MONITOR へルーティングします。EXT1 ～ 4（ステレオラインソース）は、D-sub コネクタ 15 ピンから入力します。EXT1 と 2 は、バランス /0dBu で、EXT3 と 4 は、アンバランス /-10dBV です。GRP1 ～ 4 スイッチを押すと、グループ出力信号がそれぞれモニタできます。ただし、放送用コントロールルーム / スタジオモニタモジュールに、GRP1 ～ 4 スイッチは付いていません。

●スタジオヘッドホン

15）STUDIO H/PHONES

通常は、SOURSE SELECTION スイッチで選んだソースを出力します。PFL/AFL スイッチを押した場合は、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。同様に、デュアルマイク入力モジュールをトークバック入力に設定し、トークバック信号を送った場合も、同じ動作になります。T/B MIC、またはT/B INPUT（リバーストークバック入力）からの信号を受けた場合は、トークバック信号と 20dB アッテネートされたモニタソース信号が一緒に出力されます。この際、レベルボリュームは、無効になります。

16）SOURCE SELECTION

出力ソースを、PGM（MIX L/R）、AUX、EXT（EXT SELECTER で選んだソース）のなかから選択します。AUTO PFL がオンの場合、PFL/AFL スイッチを押すと、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。

17）AUTO PFL

このスイッチを押すと、PFL/AFL 時に出力信号が、自動的に検聴信号に切り替わります。

18）STUDIO PHONES

スタジオヘッドホーン用ジャック。ヘッドホーンは、400 Ω以上のものをお使いください。

●スタジオモニタ

19）STUDIO MONITOR LEVEL

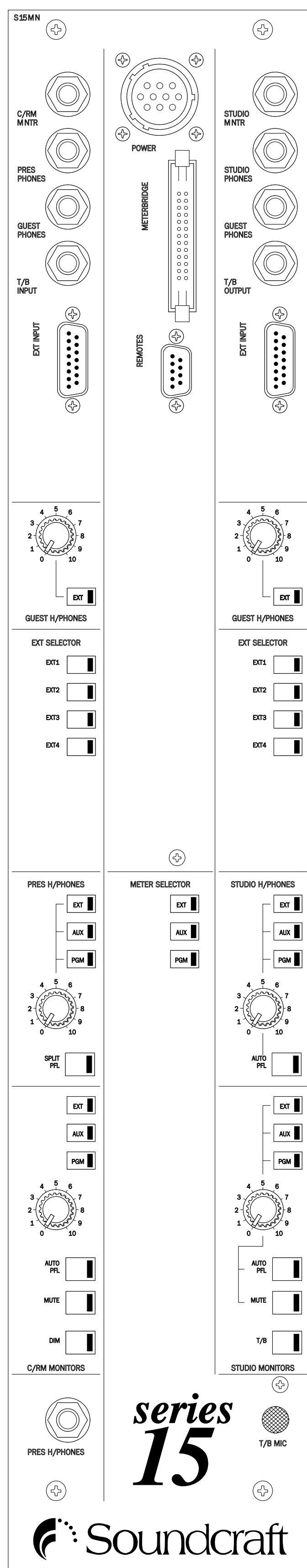
スタジオモニタ出力のレベルを調整するボリュームです。

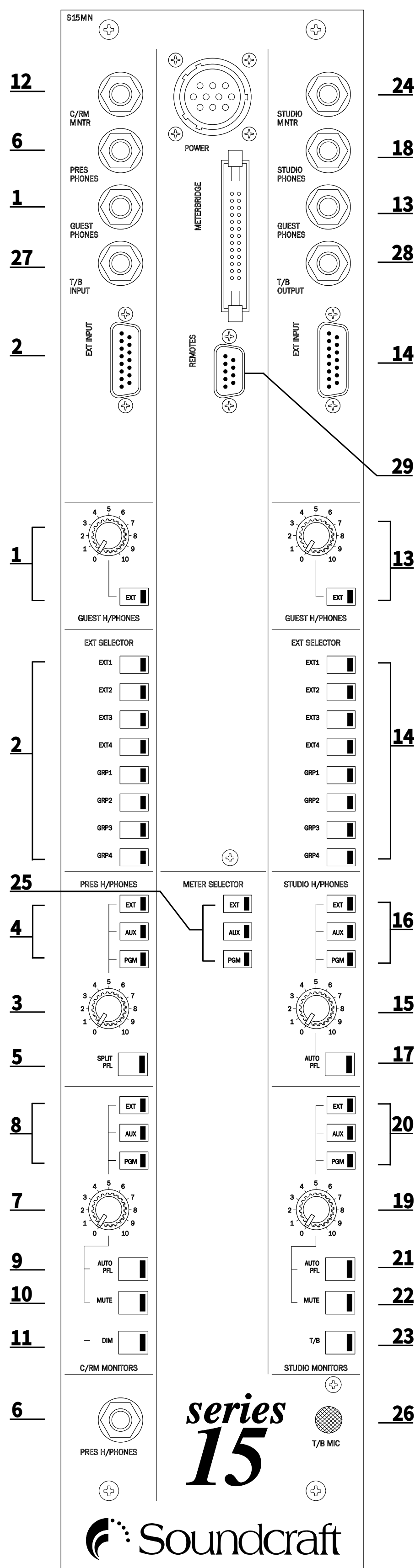
20）SOURCE SELECTION

出力ソースを、PGM（MIX L/R）、AUX、EXT（EXT SELECTER で選んだソース）のなかから選択します。AUTO PFL がオンの場合、PFL/AFL スイッチを押すと、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。

21）AUTO PFL

このスイッチを押すと、PFL/AFL 時にスタジオモニタ出力信号が、自動的に検聴信号に切り替わります。


S15MN
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
EXT
GUEST H/PHONES
EXT
GUEST H/PHONES
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
PRES H/PHONES
EXT
AUX
PGM
SPLIT PFL
METER SELECTOR
EXT
AUX
PGM
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
DIM
C/RM MONITORS
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
T/B
STUDIO MONITORS
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft


S15MN
12
6
1
27
2
C/RM MNTR
PRES PHONES
GUEST PHONES
T/B INPUT
EXT INPUT
POWER
METERBRIDGE
REMOTES
STUDIO MNTR
STUDIO PHONES
GUEST PHONES
T/B OUTPUT
EXT INPUT
24
18
13
28
14
29
1
EXT
GUEST H/PHONES
13
EXT
GUEST H/PHONES
2
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
GRP1
GRP2
GRP3
GRP4
14
EXT SELECTOR
EXT1
EXT2
EXT3
EXT4
GRP1
GRP2
GRP3
GRP4
25
4
3
5
PRES H/PHONES
EXT
AUX
PGM
SPLIT PFL
METER SELECTOR
EXT
AUX
PGM
STUDIO H/PHONES
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
16
15
17
8
7
9
10
11
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
DIM
C/RM MONITORS
EXT
AUX
PGM
AUTO PFL
MUTE
T/B
STUDIO MONITORS
20
19
21
22
23
6
PRES H/PHONES
series 15
T/B MIC
Soundcraft
26

22）MUTE

スタジオモニタ出力をミュートします。

23）T/B

このスイッチを押すと、T/B MIC からの信号を、プレゼンタヘッドホーン、スタジオヘッドホーン、コントロールルームモニタ出力、スタジオモニタの各出力へ送ります。その際、コントロールルームモニタが 20dB アッテネートされます。内部ジャンパ設定により、個々の出力への送りをバイパスすることも可能です。

24）STUDIO MNTR

スタジオモニタ出力ジャック。アンバランス /0dBu。

25）METER SELECTOR

メータブリッジ上の VU メータに表示するソースを、PGM（MIX L/R)、AUX、EXT（EXT SELECTER で選んだソース）のなかから選択します。ただし PFL/AFL スイッチを押した場合は、自動的に、この検聴信号に切り替わります。PFL/AFL スイッチをオフにすると、再び自動的のもとのソースの出力に戻ります。

26）T/B MIC

トークバックマイク。T/B スイッチを押すと、有効になります。

27）T/B INPUT

リバーストークバック入力。プレゼンタヘッドホーン、コントロールルームモニタ出力に信号が送られます。このジャックは、チップがリバーストークバック信号、リングがトークバックコントロールロジック、スリーブが共通グラウンドです。

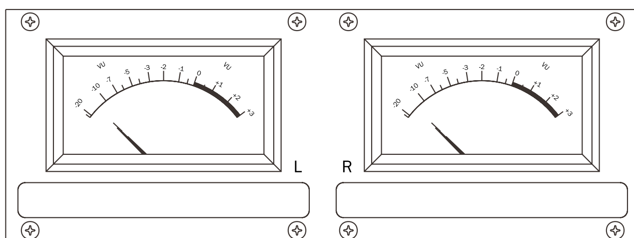
28）T/B OUT

T/B MIC 信号を、入力直後から直接に出力します。アンバランス /0dBu。

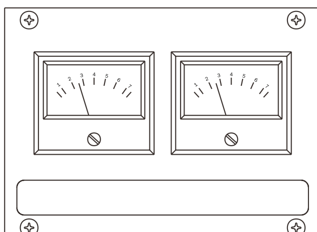
29）REMOTES

D-sub コネクタ 9 ピンに、コントロールルームモニタ / スタジオモニタミュートのコントロールロジック接点が立ち上がっています。これにより、外部からのミュートコントロールが可能です。

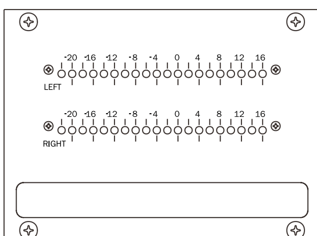
■メータブリッジパネル



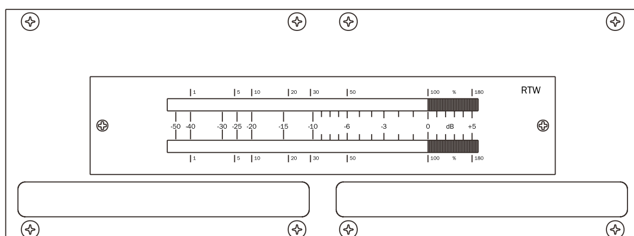
デュアル大型 VU/PPM メータ



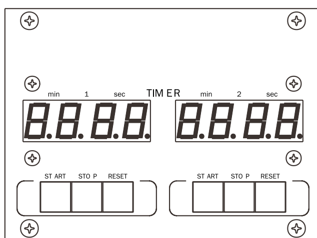
デュアル小型 VU/PPM メータ



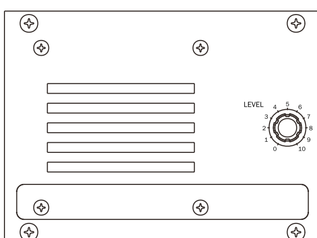
デュアル LED メータ



バーグラフパネル
（RTW1113 / RTW1119 付属）



デュアルタイマー



PFL ラウドスピーカ

●メータの表示

メータには、以下の信号レベルを表示させることができます。

通常は、メインのメータに 1）の信号を立ち上げます。そして、必要に応じて他のメータを使い、任意の信号を選択して使用します。

1）コントロール / スタジオモニタモジュールの METER SELECTOR スイッチで選択したソース。

2）PGM（MIX L/R）出力。

3）グループ 1 出力 L/R

4）グループ 2 出力 L/R

5）グループ 3 出力 L/R

6）グループ 4 出力 L/R

7）AUX 出力

8）PFL 出力

●デュアルタイマーの機能

2 個のタイマーは、それぞれ、タイマー 1（左側）はマイクタイマー、タイマー 2（右側）はマシンタイマーとして動作するように設定されています。内部設定により、タイマー 1 はマイクタイマー、またはマニュアルタイマーのどちらか、タイマー 2 はマシンタイマー、またはマニュアルタイマーのどちらかにすることができます。

マニュアルタイマー

メータパネル上のスイッチ（START、STOP、RESET）のみで作動します。

マイクタイマー

デュアルマイク入力モジュールで、チャンネルフェーダを上げた時にコントロールルームモニタ出力にミュートをかける設定をしている場合、そのチャンネルフェーダと連動します。この時、タイマーは、チャンネルフェーダを上げると自動的にスタート、下げきるとストップ、再び上げるとリセットスタートします。ただし、複数のチャンネルフェーダを連動させた場合、すべてのチャンネルフェーダを下げきらないと、タイマーはストップしません。

マシンタイマー

ステレオ入力モジュール / ステレオ Telco 入力モジュールのチャンネルフェーダに連動します。この時、タイマーは、チャンネルフェーダを上げると自動的にスタート、下げきるとストップ、再び上げるとリセットスタートします。ただし、複数のチャンネルフェーダを連動させた場合、すべてのチャンネルフェーダを下げきらないと、タイマーはストップしません。

● PFL ラウドスピーカ

PFL 信号をこのスピーカで聞くことができます。また、LEVEL ポットでボリュームを調整できます。

■ジャンパ / スイッチ設定

デュアルマイク入力モジュール

◎ J1 - MIC1 ファンタム電源（+48V）

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... ON

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... *OFF

◎ J2 - MIC2 ファンタム電源（+48V）

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... ON

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... *OFF

◎ J3 - トークバックマイク入力として使う

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... YES

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... *NO

◎ SW6-1 - PFL スイッチのデュアルアクションを無効にする .... ON / *OFF

◎ SW6-2 - フェーダ UP で PFL をキャンセルする .... *ON / OFF

SW6-3 と W6-4 は、つねにペアで設定。

◎ SW6-3 - インサートをバイパスする .... *ON / OFF

◎ SW6-4 - インサートを有効にする .... ON / *OFF

◎ PGM 選択時、SW6-5 - MIC1 の時、フェーダ UP で C/Room モニタ出力をミュート ..... *ON / OFF

◎ PGM 選択時、SW6-6 - MIC1 の時、フェーダ UP でスタジオモニタ出力をミュート ...... ON / *OFF

◎ PGM 選択時、SW6-7 - MIC2 の時、フェーダ UP で C/Room モニタ出力をミュート ..... *ON / OFF

◎ PGM 選択時、SW6-8 - MIC2 の時、フェーダ UP でスタジオモニタ出力をミュート ...... ON / *OFF

Telco 入力モジュール

◎ SW6-1 - PFL スイッチのデュアルアクションを無効にする .... ON / *OFF

◎ SW6-2 - フェーダ UP で PFL をキャンセルする .... *ON / OFF

SW6-3 と W6-4 は、つねにペアで設定。

◎ SW6-3 - インサートをバイパスする .... *ON / OFF

◎ SW6-4 - インサートを有効にする .... ON / *OFF

ステレオ入力 / ステレオ Telco 入力モジュール（共通）
SW9-1/3 と W9-2/4 は、つねにペアで設定。

◎ SW9-1/3 - インサートをバイパスする .... *ON / OFF

◎ SW9-2/4 - インサートを有効にする .... ON / *OFF

◎ SW10-1- START スイッチのリピートスタートを有効にする .... ON / *OFF

◎ SW10-2- PFL スイッチのデュアルアクションを無効にする .... ON / *OFF

◎ SW10-3- フェーダスタート　ラッチ動作 / モーメンタリ動作設定

　　ラッチ動作 .... ON

　　モーメンタリ動作 .... *OFF

◎ SW10-4- フェーダ UP で PFL をキャンセルする .... *ON / OFF

ステレオグループ出力 / ステレオマスタ出力モジュール（共通）

◎ J1 - インサート IN/BYPASS-Lch

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... IN

　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... *BYPASS

◎ J2 - インサート IN/BYPASS-Rch

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... IN

　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... *BYPASS

コントロールルーム / スタジオモニタモジュール（左側基盤）

◎ J1 - トークバック信号を PRES H/P に送る

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... 無効

　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... * 有効

◎ J2 - トークバック信号を C/Room モニタ出力に送る

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... 無効

　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... * 有効

コントロールルーム / スタジオモニタモジュール（右側基盤）

◎ J1 - トークバック信号をスタジオ H/P に送る

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... 無効

　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... * 有効

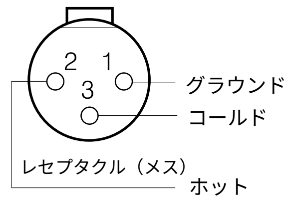
◎ J2 - トークバック信号をスタジオモニタ出力に送る

　　ピン 2 とピン 3 をリンクする .... 無効

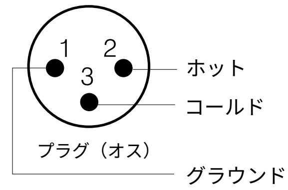
　　ピン 1 とピン 2 をリンクする .... * 有効

■ XLR コネクタ＆ 3P フォーンプラグ

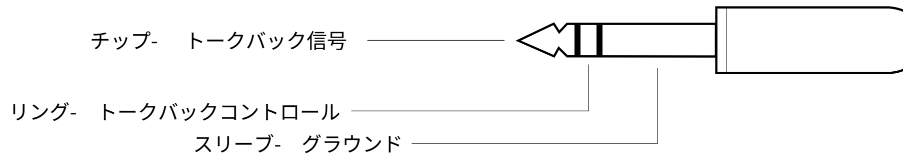
マイク入力、Telco入力



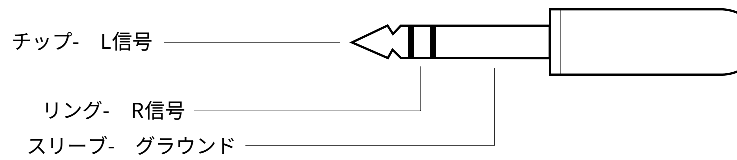
PGM(MIX L/R)出力、MONO出力、
クリーンフィード出力



3Pフォーンプラグ：T/B 出力、REV T/B入力



3Pフォーンプラグ：ヘッドホーン出力、コントロールルームモニタ出力、スタジオモニタ出力



■ D-sub コネクタ

●デュアルマイク入力モジュール

リモート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- キューライト 1B
ピン 3 ---------------------------------- キューライト 2B
ピン 4 ---------------------------------- 未使用
ピン 5 ---------------------------------- カフミュート A
ピン 6 ---------------------------------- グラウンド
ピン 7 ---------------------------------- インサートセンド（+）
ピン 8 ---------------------------------- インサートリターン（+）
ピン 9 ---------------------------------- キューライト 1A
ピン 10 -------------------------------- キューライト 2A
ピン 11 -------------------------------- +5V
ピン 12 -------------------------------- 未使用
ピン 13 -------------------------------- カフミュート B
ピン 14 -------------------------------- インサートセンド（-）
ピン 15 -------------------------------- インサートリターン（-）

● Telco 入力モジュール

リモート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- ホールド B
ピン 3 ---------------------------------- 未使用
ピン 4 ---------------------------------- エクスターナル・トークバック入力（+）
ピン 5 ---------------------------------- エクスターナル・トークバックロジック
ピン 6 ---------------------------------- グラウンド
ピン 7 ---------------------------------- インサートセンド（+）
ピン 8 ---------------------------------- インサートリターン（+）
ピン 9 ---------------------------------- ホールド B
ピン 10 -------------------------------- 未使用
ピン 11 -------------------------------- +5V
ピン 12 -------------------------------- エクスターナル・トークバック入力（-）
ピン 13 -------------------------------- 未使用
ピン 14 -------------------------------- インサートセンド（-）
ピン 15 -------------------------------- インサートリターン（-）

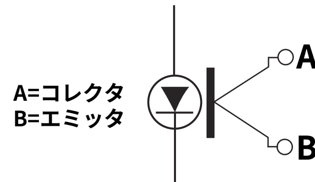
●ステレオ入力モジュール

リモート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- スタート 1B
ピン 3 ---------------------------------- ストップ 1B
ピン 4 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 5 ---------------------------------- スタート 2B
ピン 6 ---------------------------------- ストップ 2B
ピン 7 ---------------------------------- +5V
ピン 8 ---------------------------------- グラウンド
ピン 9 ---------------------------------- スタート 1A
ピン 10 -------------------------------- ストップ 1A
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- スタート 2A
ピン 13 -------------------------------- ストップ 2A
ピン 14 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 15 -------------------------------- シャーシグラウンド

■スタート / ストップ・コントロールの接続
ステレオ入力モジュール、ステレオ Telco 入力モジュールのスタート A / B、ストップ A / B は、それぞれフォトカプラ経由で出力されています。

フォトカプラ極性



入力＋インサート（D-sub25 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- 入力 1L（+）
ピン 3 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 4 ---------------------------------- 入力 1R（+）
ピン 5 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 6 ---------------------------------- 入力 2L（+）
ピン 7 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 8 ---------------------------------- 入力 2R（+）
ピン 9 ---------------------------------- インサートリターン R（+）
ピン 10 -------------------------------- インサートセンド R（+）
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- インサートセンド L（+）
ピン 13 -------------------------------- インサートリターン L（+）
ピン 14 -------------------------------- 入力 1L（-）
ピン 15 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 16 -------------------------------- 入力 1R（-）
ピン 17 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 18 -------------------------------- 入力 2L（-）
ピン 19 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 20 -------------------------------- 入力 2R（-）
ピン 21 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 22 -------------------------------- インサートリターン R（-）
ピン 23 -------------------------------- インサートセンド R（-）
ピン 24 -------------------------------- インサートリターン L（-）
ピン 25 -------------------------------- インサートリターン L（-）

●ステレオ Telco 入力モジュール

リモート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- スタート 1B
ピン 3 ---------------------------------- ストップ 1B
ピン 4 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 5 ---------------------------------- スタート 2B
ピン 6 ---------------------------------- ストップ 2B
ピン 7 ---------------------------------- +5V
ピン 8 ---------------------------------- グラウンド
ピン 9 ---------------------------------- スタート 1A
ピン 10 -------------------------------- ストップ 1A
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- スタート 2A
ピン 13 -------------------------------- ストップ 2A
ピン 14 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 15 -------------------------------- シャーシグラウンド

入力 + クリーンフィード出力（D-sub25 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- 入力 1L（+）
ピン 3 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 4 ---------------------------------- 入力 1R（+）
ピン 5 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 6 ---------------------------------- 入力 2L（+）
ピン 7 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 8 ---------------------------------- 入力 2R（+）
ピン 9 ---------------------------------- インサートリターン R（+）
ピン 10 -------------------------------- クリーンフィード出力 R（+）
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- クリーンフィード出力 L（+）
ピン 13 -------------------------------- インサートリターン L（+）
ピン 14 -------------------------------- 入力 1L（-）
ピン 15 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 16 -------------------------------- 入力 1R（-）
ピン 17 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 18 -------------------------------- 入力 2L（-）
ピン 19 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 20 -------------------------------- 入力 2R（-）
ピン 21 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 22 -------------------------------- インサートリターン R（-）
ピン 23 -------------------------------- クリーンフィード出力 R（-）
ピン 24 -------------------------------- クリーンフィード出力 L（-）
ピン 25 -------------------------------- インサートリターン L（-）

●ステレオグループ出力モジュール

出力＋インサート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- 未使用
ピン 3 ---------------------------------- グループ L -10dBV 出力
ピン 4 ---------------------------------- インサートリターン R（+）
ピン 5 ---------------------------------- インサートセンド R（+）
ピン 6 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 7 ---------------------------------- インサートセンド L（+）
ピン 8 ---------------------------------- インサートリターン L（+）
ピン 9 ---------------------------------- 未使用
ピン 10 -------------------------------- グループ R -10dBV 出力
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- インサートリターン R（-）
ピン 13 -------------------------------- インサートセンド R（-）
ピン 14 -------------------------------- インサートセンド L（-）
ピン 15 -------------------------------- インサートリターン L（-）

●ステレオマスタ出力モジュール

出力＋インサート（D-sub15 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- AUX 出力（+）
ピン 3 ---------------------------------- MIX L -10dBV 出力
ピン 4 ---------------------------------- インサートリターン R（+）
ピン 5 ---------------------------------- インサートセンド R（+）
ピン 6 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 7 ---------------------------------- インサートセンド L（+）
ピン 8 ---------------------------------- インサートリターン L（+）
ピン 9 ---------------------------------- AUX 出力（-）
ピン 10 -------------------------------- MIX R -10dBV 出力
ピン 11 -------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 12 -------------------------------- インサートリターン R（-）
ピン 13 -------------------------------- インサートセンド R（-）
ピン 14 -------------------------------- インサートセンド L（-）
ピン 15 -------------------------------- インサートリターン L（-）

●コントロールルーム / スタジオモニタモジュール

エクスターナル入力（D-sub15 ピン）

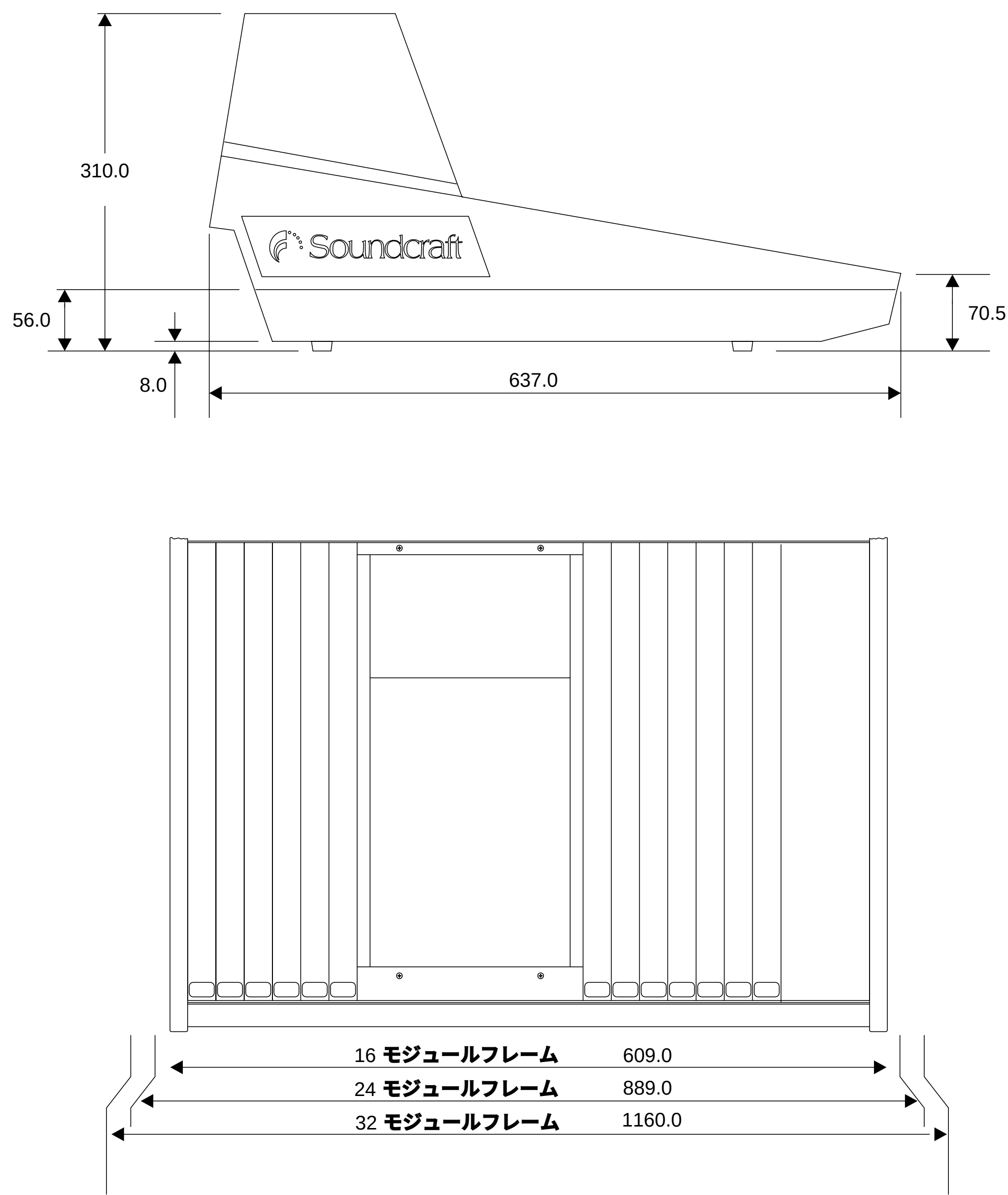
ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- エクスターナル入力 1L（+）
ピン 3 ---------------------------------- エクスターナル入力 1R（+）
ピン 4 ---------------------------------- エクスターナル入力 2L（+）
ピン 5 ---------------------------------- エクスターナル入力 2R（+）
ピン 6 ---------------------------------- グラウンド
ピン 7 ---------------------------------- エクスターナル入力 3L（+）
ピン 8 ---------------------------------- エクスターナル入力 3R（+）
ピン 9 ---------------------------------- エクスターナル入力 1L（-）
ピン 10 -------------------------------- エクスターナル入力 1R（-）
ピン 11 -------------------------------- エクスターナル入力 2L（-）
ピン 12 -------------------------------- エクスターナル入力 2R（-）
ピン 13 -------------------------------- グラウンド
ピン 14 -------------------------------- エクスターナル入力 4L（+）
ピン 15 -------------------------------- エクスターナル入力 4R（+）

リモート（D-sub9 ピン）

ピン 1 ---------------------------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ---------------------------------- C/Room ミュート 1B
ピン 3 ---------------------------------- C/Room ミュート 2B
ピン 4 ---------------------------------- スタジオミュート 1B
ピン 5 ---------------------------------- スタジオミュート 2B
ピン 6 ---------------------------------- C/Room ミュート 1A
ピン 7 ---------------------------------- C/Room ミュート 2A
ピン 8 ---------------------------------- スタジオミュート 1A
ピン 9 ---------------------------------- スタジオミュート 2A

■ C/Roomミュート、スタジオミュートの接続
それぞれ、リレー端子が立ち上がっています。

■本体外形寸法図（mm）


310.0
56.0
8.0
637.0
70.5
Soundcraft
16 モジュールフレーム 609.0
24 モジュールフレーム 889.0
32 モジュールフレーム 1160.0

■仕様（スペック）

●周波数特性

任意の入力から PGM/ グループ /AUX 出力 .... 20Hz ～ 20KHz/+0/-0.5dB

● THD

ライン入力（ユニティーゲイン）から PGM/ グループ /AUX 出力

.... @20dBu、0.080%以下 /40Hz ～ 10kHz

.... @0dBu、0.015%以下 /1kHz

マイク入力 PGM 出力

.... @0dBu、0.080%以下 /40Hz ～ 10kHz

●入出力インピーダンス

マイク入力.. 2.2K Ω

ステレオライン入力 .... 10K Ω以上

Telco 入力 .... 10K Ω以上

出力 .... 75 Ω以下

●入出力レベル

マイク入力（XLR）... -70 ～ -20dBu

ステレオライン入力 1（D-sub）.. -10 ～ +4dBu

ステレオライン入力 2（D-sub）... 0dBu

Telco 入力（XLR）.. -10 ～ +4dBu

インサートセンド 0dBu

インサートリターン 0dBu

●許容最大出力レベル

クリーンフィード /PGM/AUX/ 各出力 .... +26dBu/600 Ω時

インサートセンド .... +26dBu

●クロストーク（10KHz）

チャンネルフェーダアッテネーション

1KHz 105dB

10KHz 95dB

チャンネル間

1KHz 100dB

10KHz 93dB

●クリーンフィードリジェクション比（ステレオ / モノ）

100Hz .... **-56dB**

1KHz .... **-60dB**

10KHz .... **-60dB**

●イコライザ / フィルタ

デュアルマイク入力モジュール

HF

周波数 **10kHz**

ゲイン .... **± 10dB**

MF

周波数 **3KHz**

ゲイン .... **± 10dB**

LF

周波数 **180Hz**

ゲイン .... **± 10dB**

ステレオ入力モジュール

HF

周波数 **10kHz**

ゲイン .... **± 10dB**

MF

周波数 **3KHz**

ゲイン .... **± 10dB**

LF

周波数 **180Hz**

ゲイン .... **± 10dB**

Telco/ ステレオ Telco 入力モジュール

HF

周波数 **10kHz**

ゲイン .... **± 10dB**

MF

周波数 **3KHz**

ゲイン .... **± 10dB**

LF

周波数 180Hz

ゲイン .... ± 10dB

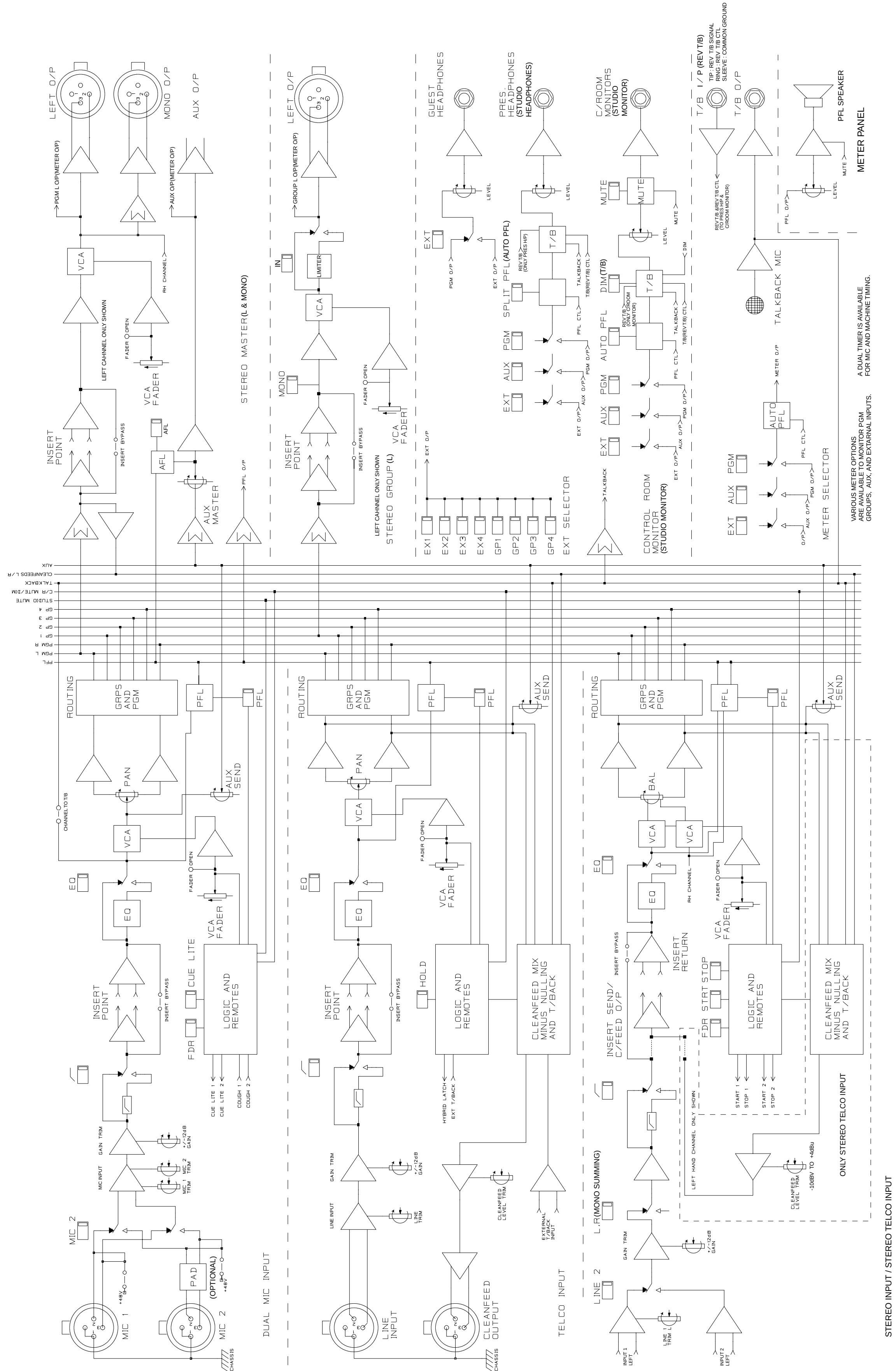
●電源部（CPS275 電源ユニット）

電源 ....AC100V、50/60Hz、最大消費電力 450W

動作温度範囲 .... -10° C ～ +40° C

電源本体重量 .... 11Kg（本体のみ）

■ブロックダイヤグラム


LEFT O/P
MONO O/P
AUX O/P
PGM L O/P(METER O/P)
AUX O/P(METER O/P)
VCA
RH CHANNEL
LEFT CAHNNEL ONLY SHOWN
VCA FADER
FADER OPEN
INSERT POINT
INSERT BYPASS
AFL
AUX MASTER
PFL O/P
STEREO MASTER(L & MONO)
GROUP L O/P(METER O/P)
IN
LIMITER
MONO
STEREO GROUP(L)
GUEST HEADPHONES
PRES. HEADPHONES (STUDIO HEADPHONES)
C/ROOM MONITORS (STUDIO MONITOR)
T/B I/P (REV T/B)
TIP : REV T/B SIGNAL
RING : REV T/B CTL
SLEEVE : COMMON GROUND
T/B O/P
PFL SPEAKER
METER PANEL
LEVEL
EXT
PGM O/P
EXT O/P
SPLIT PFL(AUTO PFL)
T/B
TALKBACK
MUTE
DIM(T/B)
DIM
AUTO PFL
PFL CTL
AUX
PGM
EXT SELECTOR
EX1
EX2
EX3
EX4
GP1
GP2
GP3
GP4
CONTROL ROOM MONITOR (STUDIO MONITOR)
TALKBACK MIC
METER O/P
METER SELECTOR
A DUAL TIMER IS AVAILABLE FOR MIC AND MACHINE TIMING.
VARIOUS METER OPTIONS ARE AVAILABLE TO MONITOR PGM GROUPS, AUX, AND EXTARNAL INPUTS.
AUX
CLEANFEEDS L/R
TALKBACK
C/R MUTE/DIM
STUDIO MUTE
GP 4
GP 3
GP 2
GP 1
PGM R
PGM L
PFL
ROUTING
GRPS AND PGM
PFL
PAN
AUX SEND
CHANNEL TO T/B
EQ
CUE LITE
LOGIC AND REMOTES
FDR
CUE LITE 1
CUE LITE 2
COUGH 1
COUGH 2
GAIN TRIM
MIC INPUT
MIC 2
PAD
(OPTIONAL)
+48V
MIC 1
CHASSIS
DUAL MIC INPUT
HOLD
CLEANFEED MIX MINUS NULLING AND T/BACK
HYBRID LATCH
EXT T/BACK
LINE INPUT
LINE TRIM
CLEANFEED LEVEL TRIM
EXTERNAL T/BACK INPUT
CLEANFEED OUTPUT
TELCO INPUT
BAL
INSERT RETURN
INSERT SEND/ C/FEED O/P
STRT STOP
START 1
STOP 1
START 2
STOP 2
LEFT HAND CHANNEL ONLY SHOWN
ONLY STEREO TELCO INPUT
-10dBV TO +4dBu
L,R(MONO SUMMING)
LINE 2
INPUT 1 LEFT
INPUT 2 LEFT
STEREO INPUT / STEREO TELCO INPUT

■ MEMO



HIBINO

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

福岡ブランチ
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-5-24
TEL: 092-475-2555　FAX: 092-482-4535

北海道オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776